

地域を守る 消防団

「守りたい人・守りたい場所があるから」



皆さんは、消防団やその活動をどれくらい知っていますか？
近年では、全国で地震や風水害などの大規模災害が多発しており、消防団の必要性は年々高まっています。その一方で、少子高齢化や地域の連帯意識の希薄化などによって、消防団員の確保に大変苦慮しています。
今回の特集では、「地域防災の要」として、必要不可欠な存在である消防団の実態に迫ります。

●消防団を知ろう！

◆消防団

消防団は、「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、地域住民を中心としたボランティア的な消防機関です。消防組織法に基づいて市に設置されており、消防署と連携を取りながら活動しています。

行方市は旧町単位の支団制により、本部と3支団14分団71部のほか、女性部で組織されています。

《組織体制》

本部 4人		麻生支団 5分団 430人		北浦支団 4分団 134人		玉造支団 5分団 285人		女性部 8人	
第1分団	第1部、第9部 (第2部欠)	第2分団	第1部、第6部 (第6部欠)	第3分団	第1部、第3部	第4分団	第1部、第3部	第5分団	第1部、第4部
第4分団	第1部、第5部	第5分団	第1部、第5部	第1分団	第1部、第4部	第2分団	第1部、第5部	第3分団	第1部、第8部
第3分団	第1部、第7部	第2分団	第1部、第6部	第3分団	第1部、第3部	第4分団	第1部、第3部	第5分団	第1部、第3部

《ポンプ》

普通消防ポンプ自動車	7台
水槽付き消防ポンプ自動車	6台
小型動力ポンプ付積載車	58台

◆消防団員

消防団員は、18歳以上の健康な男女で、行方市内に在住または在勤の方で構成されています。それぞれの職業につきながら、災害時の消火活動や救助・救出活動、平常時の訓練や防火・防災活動などを行い、地域に密着して、住民の安全と安心を守るという重要な役割を担っています。身分は、非常勤特別職の地方公務員です。行方市の条例定数は1450人、実員数は1314人（うち女性8人）で、県内では3番目に多い団員数です。平均年齢は35・11歳で、被雇用者（会社員など）の割合は80・06%です。

平成18年度と比較すると、この10年間で、団員数は1436人から1222人減少し、平均年齢も32・93歳から2・18歳上昇しています。

《職業構成別団員数》

国家公務員	2人
地方公務員（都道府県職員）	14人
地方公務員（市町村職員）	66人
特殊法人等公務員に準ずる職員	12人
農協職員	12人
日本郵政グループ	15人
その他	1193人

《就業形態別団員数》

被雇用者（会社員など）	1052人
自営業者	26人
家族従業者	219人

※数字はいずれも平成28年4月1日現在

◆消防団活動

災害や火災などの有事の出動のほか、各種行事への参加や訓練・点検などを行っています。

訓練や点検は、休日や仕事が終わった後など、会社員に無理のない範囲で行われています。

《主な年間活動》

4月	辞令交付式
5月	新入団員基礎教育
6月	防災訓練・消防団夏季訓練 ・機庫詰所点検
9月	行方市消防ポンプ操法競技大会
10月	茨城県消防ポンプ操法競技大会 鹿行地区大会
11月	秋の火災予防運動
12月	歳末特別警戒活動
1月	行方市消防出初式 文化財防火デーに伴う消防訓練
3月	春の火災予防運動広報活動
毎月	水利点検・地域警戒活動
随時	地域防災訓練

◆消防団への期待

少子高齢化が進み、高齢化率が31.6%を超えている行方市。高齢者が増えるにつれ、地域防災の要である消防団活動への期待は高まっています。

平常時の点検や予防・啓発活動などの消防団活動は、団員間の交流はもちろん、地域のコミュニケーションの場にもなっており、地域づくりの一翼を担っています。



◆現状と課題

地域での役割が期待されている一方で、消防団を取り巻く環境は変化しています。

一つは、少子高齢化による担い手不足です。訓練内容や平常時の拘束時間などが団員や家族の負担になっていることもあり、若い団員は減少傾向にあります。現在は少子化によって小学校も統合されており、将来的には団員が急速に減少する可能性があります。

もう一つは、被雇用者（会社員など）団員の増加です。かつては、団員の多くが自営業者でしたが、現在では被雇用者が8割を占めています。被雇用者の団員は、時間的制約があることから活動に負担感が強く、災害時には職場を離れない傾向があります。

国では、これらの課題を踏まえ、団員が活動しやすい環境整備と団員確保につなげるため、地方公務員や公立学校教職員の入団促進と消防団活動への配慮を求めるほか、消防団協力事業所表示制度など、さまざまな取り組みを進めています。

●若いチカラ募集！

消防団員は、誰でもなることができます。安心で安全な行方市を子どもたちにつないでいくため、いつまでも団員たちの使命感に頼り続けるのではなく、一人一人が自分事として行動に移してみませんか。あなたの若いチカラが必要です。男女問わず、入団をお待ちしています。

平成28年度 行方市消防団第11回消防ポンプ操法競技大会結果

9月24日（土）、行方市消防団第11回消防ポンプ操法競技大会が、北浦第2グラウンドで開催されました。

入賞チーム、個人賞を受賞した方は、次のとおりです。

◆自動車ポンプの部

優 勝	根 古 屋 消 防 団	玉造支団第1分団第2部
準優勝	富 田 消 防 団	麻生支団第1分団第9部
第3位	山 田 消 防 団	北浦支団第1分団第1部

◆小型ポンプの部

優 勝	西 谷 消 防 団	玉造支団第1分団第3部
準優勝	矢 幡 消 防 団	麻生支団第2分団第1部
第3位	小 貫 消 防 団	北浦支団第3分団第1部

◆個人賞（優秀選手）

自動車ポンプの部		小型ポンプの部	
指揮者	小沼 秀秋	指揮者	稲田 智充
1番員	金塚 篤志	1番員	柳瀬 透
2番員	関野 保宏	2番員	仲居 敦
3番員	金塚 裕亮	3番員	吉田 勝利
4番員	杉山 昌史		



自動車ポンプの部優勝 根古屋消防団



小型ポンプの部優勝 西谷消防団

平成28年度 第67回茨城県消防ポンプ操法競技大会鹿行地区大会結果

10月16日（日）、第67回茨城県消防ポンプ操法競技大会鹿行地区大会が、北浦第2グラウンドで開催されました。市大会で優勝し、行方市代表として出場した根古屋消防団と西谷消防団は、共に敢闘賞を受賞しました。